

4月10日：ベトナム株は警戒感からまちまちな動き

ベトナム株は金曜日にまちまちな動き、ホーチミン取引所のVN指数は下落したが、ハノイ取引所のHNX指数は上昇した。世界のマクロ経済の動向に投資家の懸念が集まった。

ホーチミン取引所のVN指数は0.31%下落し757.94ポイントで取引を終えた。

同指数は木曜日には1.65%上昇し760.33ポイントで取引を終えた。

出来高は3億3840万株で売買代金にして4.1兆ドンであった。

VN30指数は0.30%下落し695.74ポイントで取引を終えた。

VN30指数では19銘柄が下落、9銘柄が上昇、2銘柄が変わらずだった。

新型コロナで影響を受けた事業と地方自治体に対して2.3兆ドル規模の資金支援策を発表したことで木曜日の米国市場は上昇した。

ダウ平均指数は285.8ポイント上昇し23719.37ポイントで取引を終えた。S&P500指数も39.84上昇の2789.82ポイント、ナスダック総合指数も62.67ポイント上昇し8153.58ポイントで取引を終えた。

木曜日に原油価格が下落したことで、エネルギー・鉱業の株式が下落していることが市場の重荷となっている。

原油価格はOPECプラスが原産の合意に達したが予想よりも少なかったため原油価格は上昇後に下落に転じた。

WTI原油先物指数は7.4%安の23.22ドル、ブレント原油先物は3%安の31.85ドルで取引されている。

その動きと同様に、ペトロベトナムドリリング (PVD)、ペトロベトナムパワー (POW)、ペトロベトナムテクニカルサービス (PVS) はそれぞれ2.5%、2.1%、0.8%安となった。

その他のセクターで下落したのは、バオベトホールディングス (BVH) (2.5%安)、モバイルワールドインベストメント (MWG)(1.8%安)、ビンググループ (VIC)(1%安)などであった。

銀行セクターも下落、BIDV 銀行 (BID) は 2.1%下落、ベティンバンク (CTG) も 1.8%安となった。

一方上昇したのは、ベトジェット航空 (VJC) 、サイゴンビール (SAB) 、ホアファットグループ (HPG) などそれぞれ 7%、1.3%、0.7%の上昇を記録した。

ユアンタ証券のアナリストによると、近頃のベトナム株の上昇は政府の効果的な新型コロナ防止策のおかげだとのことだった。

しかしながら、VN 指数が 810 ポイントに近づいた時には売り圧力が高まり上昇が止まるだろう。上昇が長引くとは思わないので、投資家は信用取引を使わないようにすべきであると語った。

ハノイ取引所の HNX 指数は 1.05%上昇し 106.18 ポイントで取引を終えた。

木曜日の同指数は 105.08 ポイントで取引を終えていた。

出来高は 5330 万株で、売買代金にして 4754 億ドンであった。

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Incorporated (JSI) から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。